

二〇二四年度 大東文化大学日本文学会春季大会

日時 二〇二四年六月二十一日(金) 午前十時より

会場 大東文化大学 板橋校舎 一〇三〇一教室

午前の部(午前十時より)

○開会の辞

日本文学会代表 美留町 義雄

○研究発表

中古 「拾遺愚草」の古筆切考 ―新出断簡の紹介とその意義―

徳植ゼミ 橋本 あさひ

中世

中世文学作品における「奈落」とその起源について

田村ゼミ 井出 凱

近・現代

太宰治「ヴィヨンの妻」から読み取る戦後について

藤尾ゼミ 山岸 碧大

日本語

スタイルシフトのシーン別の使用傾向とその効果について

富樫ゼミ 濱田 小夏

比較文学・文化

ボカロシーンにおけるメインストリームへの接近と合流

大西ゼミ 澤田 裕登

午後の部(午後一時より)

○研究発表

『古事記』『日本書紀』コノハナノサクヤビメ神話 ―心理表現と物語の違いについて―

博士後期課程 峯岸 加奈

○講演会

『日本霊異記』と『日本書紀』 ―三輪高市麻呂伝承をめぐる―

和洋女子大学准教授 大塚 千紗子 先生

○総会

○閉会の辞

日本文学会幹事会代表 高橋 美奈

大会の終了時間は、午後四時を予定しております。

閉会後に懇親会を予定しています。会員の皆様は、どなたでもぜひご参加ください。

日本文学科の学生は、当日、大会参加をもって授業出席の扱いとなります。